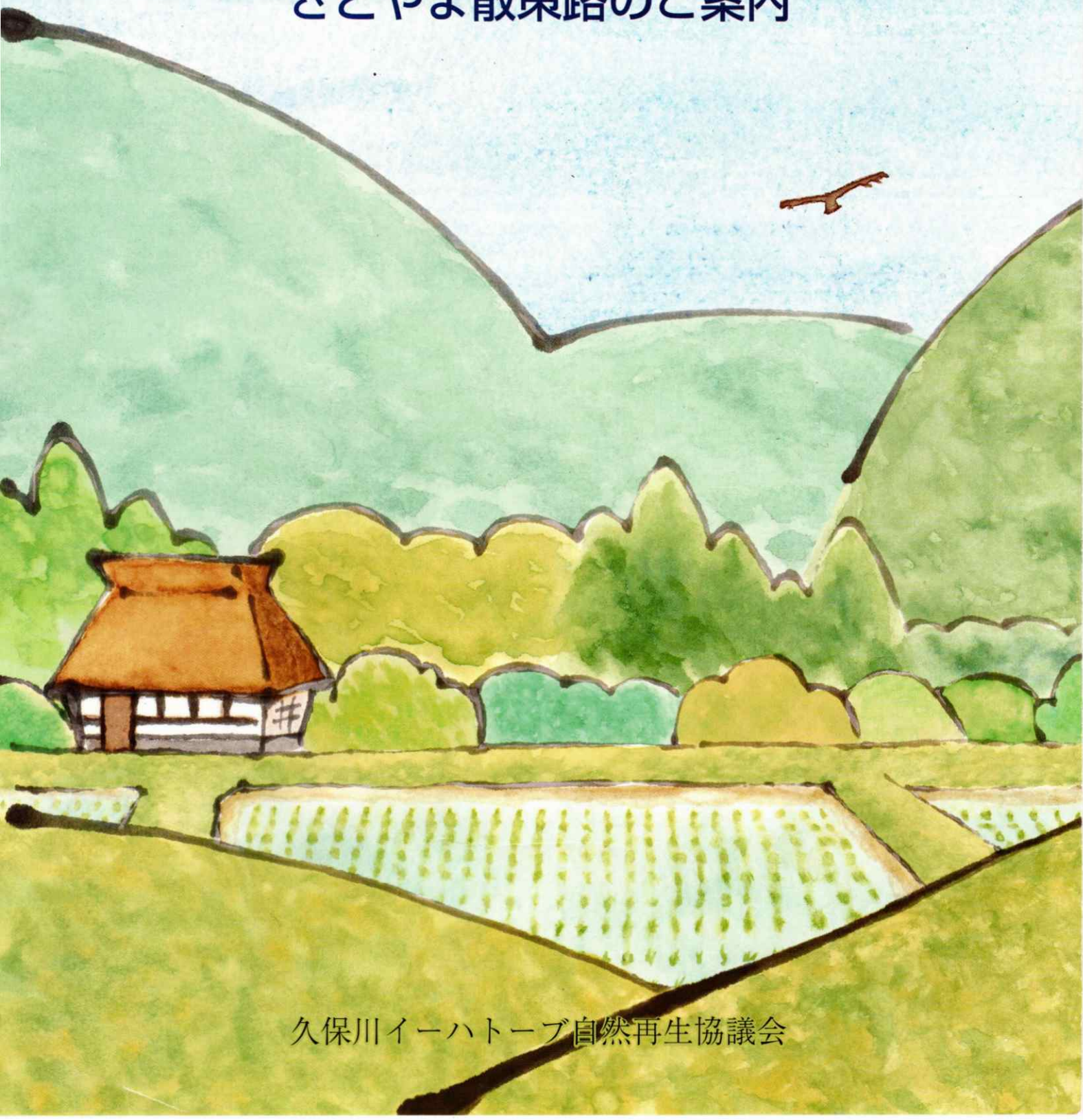


久保川イーハトーブ世界

生きもの浄土の里

さとやま散策路のご案内



久保川イーハトーブ自然再生協議会



岩手県一関市にある里山。

この地は雨も少なく、また水田を作るには難しい地質にあり、小さなため池と少しの棚田をつくり、苦勞して農業を営んできました。

そのため農家の方は土地をととても大事にし、日常の管理を日々怠らず、無理な開墾をせず

地域の四季にあわせた生活を続けてきました。

するとどうでしょう

里のため池には蛙や水生昆虫がおよぎ

林には小鳥がなき、林床の日向には

山野草が咲きほこる。

生き物にとって


楽園のような場所になっていたのです。

それは全国的に減少しつつある

「やとやま」のすがたでした。

もちろん、農家の方は気にしていません。

なぜなら、それがあたりまえの風景だったからです。



ところが、そんな楽園にも危機が訪れます。それは、侵略的外来種の侵入や高齡化による農地の減少でした。荒れてしまった山林には藪が茂り、山野草の姿は消え、外来種の植物が草木を覆うように成長をはじめたのです。なんとかしなければ手遅れになる。いち早くこの危機に気がついたのはある和尚さんでした。和尚さんはこの土地の魅力を誰より理解し、未来に繋ぐべきだと考えていました。生き生きとした里山の環境を、未来へ残すためにできることは。和尚さんの挑戦がはじまりました。



トウキョウダルマガエル



ツチガエル



モリアオガエル



ヒツジグサ



ハラビロトンボ



ミズカマキリ



ガムシ



ジュンサイ



ゲンゴロウ



モートンイトトンボ



ゲンジボタル



ハッチョウトンボ

さとやま散策で見られる生きものたち

和尚さんの活動により、さまざまな生きものが残され、再び芽を出しはじめました。生物多様性に富んだこの地を「久保川イーハトーブ世界」と名付け、地域づくりとともに現在も自然再生を続けています。

そんな「生きもの浄土の里」のさとやま散策を皆様にご案内いたします。



サワオグルマ



ミスバショウ



ショウジョウバカマ



タゴガエル



ミヤマクワガタ



ヤマガラ



ニッコウキスゲ



カタクリ



ヤママユガ



シュンラン



アカショウビン



アオサナエ

一ノ関駅から久保川イーハートープ世界へ



交通：JR東北新幹線一ノ関駅よりビジターセンターまで車で約25分
東北自動車道一関インターよりビジターセンターまで約15分

久保川イーハートープ世界のおもな見どころ



① クラムボン広場

知勝院所有の自然観察地の一つで、川の生きものや草花の観察ができる。



② 霜後の滝

クラムボン広場から歩いて行ける滝。付近にはカタクリの群生地がある。



③ 悠兮庵

知勝院所有の自然観察地の一つにある研修施設。



④ いきもの浄土館

「久保川イーハートープ世界」の生態系や生物多様性を知るための施設。



⑤ 水辺公園

放棄水田跡を再生したビオトープの世界が展開。



⑥ 長倉(第2墓地)

須川岳が見える第2墓地。さとやまの風景も見わたせる。



⑦ ゲンジボタル観察地

シーズンになるとゲンジボタルが飛びかう様子が観察できる。



⑧ ため池の生きもの観察地

水生昆虫や水草など、ため池を代表する生きものが観察できる。



⑨ 川の生きもの観察地

久保川で魚やヤゴなどの生きものを観察できるポイント。

生きもの浄土の里

さとやま散策路

- 2017年以降
自然再生実践地
- 知勝院所有地
- 観察ポイント
- 散策の道



外来植物防除地

キショウブなどの外来種を抜き取り、ノハナショウブなどの在来種を再生しています。

自然再生実践地

耕作放棄地の自然再生と外来種の排除を広範囲でおこなっています。

在来草本育苗畑へ再生中

ナツハゼやガマズミなど由来草本植物を育苗しています。

一部ササを残し林へ再生中

間伐や下草刈りなどをおこない林の再生をおこなっています。

川の生きもの観察地

ゲンジボタル観察地
(6月下旬~7月上旬)

生きもの学びの場
いきもの浄土館
ビジターセンター

知勝院

ため池の
生きもの観察地

第1墓地

水辺再生中

水辺散策の道

第3墓地

ヘイケボタル観察地
(7月上旬~8月上旬)

至一ノ関駅

古道・散策の道

自然再生地
散策の道

国有林

国有林

高圧線

久保川

駐車場

金山沢橋

さとやま散策のきまりごと

里山の景観や豊かな生態系を、皆で楽しく共有するためさとやま散策のきまりごとをしっかりと守って下され。

唱! 其の一 採らない・もちこまない

散策地の生き物は、地道な自然再生活動で回復したのも少なくない。この地で生まれ育った生き物にはこの場所がいちばんよく似合う。むやみに採集をすることなく、是非またこの場所に愛でに来て下され。

また外来種が入りこみ、在来の生態系を破壊することのないように、放流や植栽などは行わないよう願います。また、散策の際に着用する長靴や衣類などに、他の場所で付着した種子や生き物などが紛れ込んでいないか、事前に十分注意して下され。

唱! 其の二 勝手にはいかない

田んぼや畑、ため池は近隣農家さんの私有地になっている場合がほとんど。特にため池や畦は農業を営む上で大切な場所。無断で立ち入ったり、踏み荒らすことのないように心掛けて下され。

唱! 其の三 ごみはもちかえる

ポイ捨てなどは言語道断!!

さとやま散策、自然観察学習などをご希望の方は、事前予約が必要です。下記に連絡して、送迎、保険代、資料代などの詳細を打ち合わせて下さい。

久保川イーハートープ自然再生研究所

一関市萩荘字栃倉73-193

TEL 0191-33-4070 (月~土) 9:00~17:00

FAX 0191-33-4071 (24時間受付)